



リハビリテーションアート

Rehabilitation Art

絵を描くことを通して
心と脳を元気にするプログラム



リハビリテーションアートとは

水彩画を使ったリハビリテーションプログラムです。絵の上手さを目的にするのではなく、絵を描く過程を通して脳の働きを引き出すことを目的としています。長年の水彩画指導の経験をもとに作られたメソッドで、認知機能に不安のある方でも安心して取り組めるよう設計されています。

特徴

1 絵の上手・下手は関係ありません

- ・集中する
- ・形や色を見る
- ・手順を覚える
- ・手を動かす

2 誰でも作品を完成できます

- ・下絵をトレーシングで写す
- ・決められた手順で着色する

3 完成することを大切にします

- ・達成感
- ・満足感
- ・自信

制作の流れ

- 1 下絵を写す
- 2 基本の色を塗る
- 3 色を重ねる
- 4 影を入れる
- 5 仕上げ

絵の経験は必要ありません。どなたでも安心して参加できます。水彩画の制作を通して、心と脳の働きを自然に引き出します。

対象

- 高次脳機能に不安のある方
- 記憶や集中に課題のある方
- うつ状態の方
- 発達特性のある方
- ゆっくりと創作活動を楽しみたい方

りんく・りんく京都

アート・心理・神経心理学の視点から、心と脳の回復を支援する活動を行っています。水彩画教室、カウンセリング、アートセラピー、リハビリテーションアートなどを通して、安心して創作や対話に取り組める場づくりを大切にしています。

ご予約・ご相談

りんく・りんく京都

(京都市西京区エリア)



【詳細・お問い合わせ】